



年 組 名前

道新でワークシート

脱炭素 上士幌の取り組み紹介

町長、国際会議で講演

「住民も参加、世界モデルに」

今年4月に国の脱炭素先行地域に選ばれた上士幌町の竹中貢町長は7月20日、東京の国際連合大会で開かれた国際会議に招かれ講演し、脱炭素社会の実現に向けた町の取り組みを紹介した。(古谷育世)

「第3回パリ協定と持続可能な開発のための2030アジェンダのシナジー強化に関する国際会議」と題し、国連経済社会局と国連気候変動枠組条約事務局が



国際会議で、上士幌町が行う脱炭素の取り組みを紹介する竹中貢町長（町提供）

主催。7月20、21の両日に開き、各国の政府関係者や専門家ら2千人が、オンラインを交えて持続可能な開発目標（SDGs）と気候変動に対する解決策を話し合った。

先行事例の紹介を求められた竹中町長は、「再生可能エネルギーの地産地消」と題し、家畜のふん尿処理で発生するメタンガスを利用したバイオマス発電で、町内の施設や家庭に電気を供給する仕組みを説明した。

その上で「行政だけでなく、企業や団体、住民の参加・協力が不可欠。皆で目標を共有し、カーボンニュートラルの実現に向けた歩みを進める」と力を込め、「小さな町の取り組みだが、日本、世界のモデルになれるよう力強く取り組む」と強調した。

2022年8月10日（水）夕刊 帯広・十勝版 2ページ

①脱炭素社会に向けて、上士幌町では、どのような再生可能エネルギーを何に活用していますか。

②再生可能エネルギーには、バイオマスの他に、太陽光、風力、地熱、波力などがあります。あなたの住む地域では、どのようなエネルギーを活用できそうですか。理由もつけて答えましょう。